

I 児童館が行う防災・減災
II 防災イベント活動の様子
(総合防災訓練・ぐるぐるパン他)

憶児童センター新聞

THE AOKISenter NEWSepar

児童館が行う「要配慮者のための防災・減災につながる取り組み」

憶児童センターは、本年度、日本NPOセンター主催、損保ジャパン共催の児童館の特性を生かし、さまざまな地域資源がつながり、災害時の要配慮者が包摂される「誰一人取り残さない」防災・減災への取組【つながる防災】を行っています。

要配慮者とは、高齢者や障がい者、傷病者、乳幼児、外国人など、災害発生時に特に配慮が必要な人を要配慮者と言います。

要配慮者は、災害発生時、情報の把握、避難、生活手段の確保などの活動が円滑かつ迅速に行いづらい立場に置かれています。また、復興までの間、社会的な支援やこれまでのサービスが限定しまう恐れがあります。

要配慮者を災害から守るために地域で協力し合いながら、その人の状態に応じた配慮や支援が行えるように「日ごろから備えておくことが大切です」。

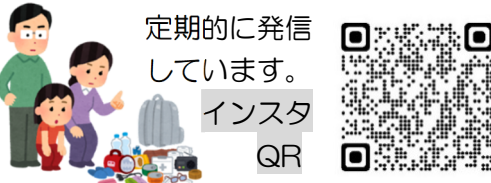
【憶児童センター事業の目標】
「災害発生時の地域住民の不安解消を図るために、児童センターとして何ができるのか模索します」

【実施及び予定事業】

- 1 多世代交流防災食体験
(ぐるぐるパン、みそ玉・ポリ袋ご飯を作ります)
- 2 小中学生、地域住民との総合防災訓練(防災食づくり・避難所運営ゲーム)
- 3 来館者による「防災ボード・避難所運営ゲーム」活動
自宅周辺の浸水洪水・津波ハザードマップ(状況把握と津波避難場所や避難所の確認)
- 4 児童センター版避難パンフレット・防災新聞発行
- 5 近隣小学校への避難所運営ゲームの移動児童館実施
- 6 近隣住民への避難及び避難所に関するアンケート実施と市危機管理課との共有

『つながる防災プロジェクト』
本事業については、インターネットにて「つながる防災プロジェクト」で検索しますと、全国の児童館の取り組みをみることができます。ちなみに、令和4年度は「宮崎市霧島児童館」の実践が報告されています。合わせて、是非、ご覧ください。

『Instagramで発信中！』
防災やその他児童センターの活動をインスタで発信中です。現在「R4 焼き芋体験」「R5 防災ボード活動」「野菜収穫」「ぐるぐるパン焼き体験」の写真や動画を見ることができます。



7/8 地域との総合防災訓練～防災食作りと避難所運営ゲーム

憶中学生ボランティア活躍

毎年、児童センター近隣の自治会協力のもと、総合防災訓練を実施しているが、本年度は、憶中学生もボランティアとして参加し、地域の方々と交流しながら「防災食作り」と「避難所運営ゲーム」を行った。

7月8日(土)の午前中に、小学生五名、中学生十二名、保護者・地域住民二十六名、合計四十三名の参加のもと、毎年、恒例の総合防災訓練を実施した。防災食づくりでは、河野鞠子氏を講師に招き、耐火ビニールに無洗米と水を入れ上部を結んだものを湯せんで炊くご飯とみそ汁用のみそ玉4個作りを行った。

後半は、リーダーとなった中学生を中心に、各班ごとに、憶児童センター【ポリ袋で作るご飯】
【味噌玉】手作りインスタント味噌汁のこと。
【味噌玉】手作りインスタント味噌汁のこと。

ポリ袋で作るご飯

【作り方】※耐火性ポリ袋
・米(無洗米) 100g
・水 110～120cc
1 ポリ袋に分量の米・水を入れ、そのまま15分。その後、袋の中の空気を抜き、上の方で口を結ぶ。

2 鍋に湯を沸かし、なべ底に直接ポリ袋が当たらないように皿かざる等をしき、その上に入米・水ポリ袋を入れる。

3 湯がふつふつする状態で、25分～30分ゆせんし、取り出して10分蒸らして完成。



【味噌玉】手作りインスタント味噌汁のこと。

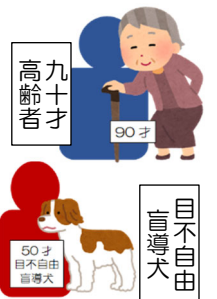
【作り方】
・かつお節やだしと味噌、具を合わせ、1食分ずつ丸めてラップで包む。食べる時は、お湯をかけるだけでOK!
(1食分の味噌玉)

・味噌大さじ1弱
・粉末だし適量
・かんそうわかめ、のりコマ他適量



避難所運営ゲーム(センター版 HUG)

1 被災家族(要配慮者含む)の配置。
(被災者カード例)



2 課題解決課題例
・トイレが臭い。
・ペットの鳴き声がうるさい。
・認知症の高齢者が避難所を出ていった。他

3 協議内容の共有
各班からの発表

【感想】(小学生)

今日、5班の人たちと話し合い、ひなん所の人のはいちや正しい態度を知れた。ほか、ひなんした時、知人の人、友達に教えて活かしていきたいと思った。これから、このことを学校でも活用したりしたい。
(中学生)

避難所ゲームでは、班の方々話し合い、新しい学びや発見がたくさんありました。非常食作りでは、湯せんで色々ものが簡単に作れることを知り、とても興味がわきました。また、機会があれば参加したいです。
(地域住民)

防災訓練は、過去何度か参加していますが、今回のような訓練は初めてでした。楽しみながら、小中学生と一緒にできました。大変、勉強になりました。実際に避難する際に想定される諸問題について日頃から地域で検討しておく実感した。平素からの準備・訓練が重要だと思ふ。



各班で、理由を述べながら話し合う

避難訓練(地震・津波) 7/28

毎年実施している避難訓練ですが、今回は訓練前に紙芝居で『自助』と『共助』の視点から話をしました。いつどこで発生するか分からない地震。発生時は、その場で「頭を守る身の安全確保」は、自分で判断し行動する『自助』。その後、避難時や復旧時は、お互いに助け合う『共助』が求められます。

「避難時に、高齢者や車いすの人、乳幼児親子等が困っていたら何かできることがあるかもしれませんね。小学生には難しいけど、お互いに助け合う「共助」、知っててね。」

その後、地震想定避難訓練を行いました。予告なしの訓練でしたが、その時に来館していた乳幼児親子と小学生皆真剣に取り組みました。



ぐるぐるパン焼き体験と防災カルタ 7/29

7月29日(土)に、防災食として「ぐるぐるパン焼き」を行いました。6名のボランティアの方々参加のもと、幼児・小学生親子が、防災カルタとぐるぐるパン焼きを体験しました。『簡単で、おいしく、家にある材料で作れる』『電気やガスがなくても作れる』災害時に楽しく作れるおやつとしての防災食です。

まず、4班に分かれて、[防災カルタ]をしました。カルタを通して班で交流を深め、防災について楽しく学ぶことができました。

その後、班ごとに、ホットケーキの粉と豆乳をビニール袋入れ、そして、こねて生地を作り、それを竹藪にぐるぐる巻いていきます。準備ができた外に出て、みんなで焚火台を組み立て、炭火で焼いていきました。5分ぐらいで、焦げ目がついてきたら藪を回し、中まで火が通ったら完成です。



【参加者感想】

- ・初めてパンを最初から作りました。今日は災害の時でも作れるパン作りでした。とても簡単でおいしかったです。
- ・余計なゴミも出さず、簡単に早く作ることができてビックリでした。家でもやってみたいです。



・津波避難ビル(緑色)
・避難所(赤色)
避難ビルと避難所のコマをみんなで挿している。



防災ボード・HUG参加者数表示板



宮崎市発行の「洪水」と「津波」のハザードマップをもとに、ボードにしています。

児童センターオリジナル防災ボードで、ハザードマップを楽しく学びます。【日常的に実施。目標三百人】

防災ボードで学ぶハザード

洪水と津波のハザードマップから、地域の浸水深や津波の方角、我が家から近い津波避難ビルと避難所が確認できます。小学生も学びやすいように工夫した、憶児童センターオリジナルの防災ボードです。

【遊び方】

- ① 我が家の位置を確認し洪水の浸水深を確かめます。
 - ② 津波アクリル板を重ね、津波の方角と浸水深を確かめます。
 - ③ 地域の津波避難ビルコマ(緑色)をボードに挿しながら、自宅周辺及び地域の避難所を確かめます。
 - ④ 地域の避難所(赤色)のコマをボードに挿しながら自宅周辺及び地域の避難所を確かめます。
- 現在、本センター職員が質問したり確認したりしながら、小中学生や幼児親子と取り組んでいます。年度後半は、高学年や中学生がリードして活動できるようにしていきたいと考えています。参加者目標は三百人です。

夏休み後半の防災食体験は、対象を小学生として、前回と同じ河野鞠子先生を講師に招き、「ポリ袋ご飯」と「みそ玉」、そして「ポリ袋カップケーキ」を作りました。また、今回も協力者として子ども会の保護者の皆さんに参加していただきました。

講師：河野 鞠子 氏



・みやざきの食と農を考える県民会食育ティーチャー(学校・地域等における食育・地産地消の推進を図る)
・防災士

防災食体験第2弾(小学生) 8/19



【参加者感想】

ぼくは、みそ玉を作ったことがなかったので作れてよかったです。入れる具材もカラフルだったので楽しかったです。防災食を作ることがあまりないので良い経験になりました。本番でも同じように作りたいです。防災食を作った覚え、今度停電した時に作ってみたいです。

避難所Q&A

この続きは、次号で…

Q1. 憶児童センターは、災害時すぐに開設しますか？

○ すぐには開設しません。指定されている避難所が、一斉に開設されるわけではありません。市内の大きな避難所等から順に開設されます。先日の台風6号時は、市の総合体育館と憶公民館が開設されています。地域の被災状況や避難者数から、市や地域事務所が開設の判断を行います。どこの避難所が開設しているかはTVや携帯電話等で確認できます。

Q2. 避難所になったら、誰が来るのですか？

○ 宮崎市から、配備職員として2名来られ、鍵を開けて色々と対応されます。

※ 地域の皆さんからいただいたアンケートは、現在、集約中です。市の危機管理課にも対応いただき、結果は、次号のセンター新聞にてご報告致します。